

平成28年度  
袖ヶ浦市姉妹都市公式訪問報告書  
(ブラジル連邦共和国イタジャイ市)

期日：平成28年7月21日(木)～7月28日(木)



(共同宣言書を取り交わす出口 清市長とジャンジール・ベリーニ市長)

袖ヶ浦市姉妹都市公式訪問団

## 目 次

I	イタジャイ市公式訪問を終えて	1
II	公式訪問の目的	5
III	訪問団名簿	5
IV	行程	6
V	公式訪問の内容	8
	○ ≪1日目≫	8
	○ ≪2日目≫	9
	○ ≪3日目≫	10
	○ ≪4日目≫	13
	○ ≪5日目≫	15
	○ ≪6日目～8日目≫	29
VI	姉妹都市交流の検証及び今後の交流のあり方について	30
	≪資料≫	33
	○ 姉妹都市の選定経過	34
	○ 姉妹都市提携後の取組み	37
	○ 訪問団の交流経過	39
	○ イタジャイ市と袖ヶ浦市の現況	55

# I イタジャイ市公式訪問を終えて ～ さらなる交流へ ～



▶イタジャイ市役所にて

(写真左) 袖ヶ浦市国際交流協会  
会長 大岩 澄枝

(写真中) 袖ヶ浦市  
市長 出口 清

(写真右) 袖ヶ浦市議会  
議長 田邊 恒生

[袖ヶ浦市長 出口 清]

去る、7月21日から7月28日までの日程で、私と市議会議長をはじめ、袖ヶ浦市国際交流協会会長、随行職員を含む5名で本市の姉妹都市であるブラジル連邦共和国サンタカタリーナ州イタジャイ市を公式訪問いたしました。

ブラジル連邦共和国サンタカタリーナ州イタジャイ市とは、昭和54年1月に、当時の袖ヶ浦町が姉妹都市提携共同宣言を取り交して以来、両市間の公式訪問や市民レベルの使節団による相互交流を積み重ね、今年で37年目を迎えました。

しかしながら、平成19年度以降は東日本大震災などの影響により、本市からの公式訪問を見送っておりました。今回の訪問は、その後、イタジャイ市から2度にわたる招請があったこと、また、姉妹都市提携以降にイタジャイ市からは首長が5回にわたり本市を訪問されていますが、本市からイタジャイ市には首長自らが訪問していなかったことなどを踏まえて、双方が、これまでの交流の成果を確認し合うとともに、今後の交流の促進につなげることを目的に実施したものです。

往路では、シカゴ空港において悪天候により航空機が大幅に遅延したため、サンパウロ市における行事が全てキャンセルとなりましたが、イタジャイ市での滞在期間中は好天に恵まれ、予定されていた行事を全て執り行うことができました。

イタジャイ市では、ジャンジール・ベリーニ市長を表敬訪問するとともに、市議会代表や幹部職員との意見交換を行い、現地にある袖ヶ浦への道（公園）やイタジャイ歴史博物館、直近に整備された大型クルーザーが係留、保管できるヨットハー

バーなどの公共施設、農園やワイン醸造所、魚市場を視察しました。また、これまでの本市からの公式訪問や市民交流の際に現地でのサポートをしていただいているイタジャイ市日伯文化協会の皆様との交流や、イタジャイ市商工会議所の皆様との両市の産業や経済などについての意見交換、農業団体主催の農業祭やイタジャイ市に隣接するブルメナウ市におけるイタリア祭などのイベントにおいて市民の皆さんと直接交流するなど、3日間という短い滞在期間の中で、充実した内容でありました。

私は、今回、ジャンジール・ベリーニ市長と直接お会いして意見交換したことを踏まえ、両市の絆をより一層深めるために再度の共同宣言を取り交すことができたことは、両市にとって姉妹都市交流への強い決意を示すものであり、今後の姉妹都市交流について、お互いが確認する良い機会であったと思っております。また、今回の公式訪問を通して、ジャンジール・ベリーニ市長のほか、関係機関の方々や日伯文化協会の皆様の温かい歓迎をいただき、改めて37年間の交流の積み重ねを感じるとともに、滞在中のさまざまな交流を通じて、所期の目的が達成できたと確信しております。

さらに、今回の訪問により、今後の姉妹都市交流の継続が確認され、市民レベルでの交流の機会が今後も確保されることによって、両市民間の友情が深まっていくものと期待しています。

今回、市議会議長として、市長、袖ヶ浦市国際交流協会会長とともに、姉妹都市であるイタジャイ市を公式訪問いたしました。

往路のフライト遅延のため、初日に予定していた先没者慰霊碑の参拝等サンパウロ市での行事はキャンセルとなってしまいましたが、イタジャイ市に到着してからは、ジャンジール・ベリーニ市長への表敬訪問をはじめ、「袖ヶ浦への道」と命名された公園、イタジャイ歴史博物館、ヨットハーバーなどの公共施設の視察、イタジャイ市日伯文化協会の皆様との交流、イタジャイ市商工会議所の皆様との意見交換など、全ての行事が順調に行われました。

イタジャイ市では、港湾を生かした発展ぶりに驚きました。イタジャイ川の河口をうまく利用した施策は素晴らしく、超大型のコンテナ船、大型客船のターミナル、クルーザー停泊基地など、本市の今後の施策としても大いに参考になるものでした。

また、イタジャイ市内にある「袖ヶ浦への道」公園は、高層ビルが立ち並ぶエリアの海辺に位置し、自転車道もきれいに整備され、園内各所に設置された運動器具では多くの人々の利用する姿が見受けられました。

イタジャイ市日伯文化協会との交流では、民間交流を中心に今後も継続、発展させていくことが重要と感じました。また、在クリチバ総領事館の池田総領事が同席されたことは大きな出来事でありました。

そして、表敬訪問では、ジャンジール・ベリーニ市長や議会代表議員をはじめイタジャイ市の幹部職員の方々からは大変手厚いおもてなしをいただき、親交を深めることができ大きな成果となりました。

イタジャイ市と袖ヶ浦市が姉妹都市の調印を行ってから37年、これまでの先人達はその友好の絆を守り続けてきた努力の賜であり、その歴史を感じる訪問でもありました。

今後、姉妹都市交流の課題として、英語に比べ接する機会の少ないポルトガル語の言葉の壁を克服することが最も必要と感じましたが、今回の公式訪問、そして共同宣言を契機に、両市間の交流が更に発展し、また、様々な分野に広がっていくことを期待するとともに、市民レベルでの文化交流の積極的な促進が図られることを願っています。

最後に、今回の公式訪問に際し、事前の準備及び現地での案内、随行等でお世話になったイタジャイ市、イタジャイ市日伯文化協会、袖ヶ浦市の関係者の皆様から心からお礼申し上げます。

[袖ヶ浦市国際交流協会 会長 大岩 澄枝]

袖ヶ浦市姉妹都市公式訪問事業に袖ヶ浦市国際交流協会会長として7月21日から28日まで同行させていただきました。トランジットの為にシカゴ空港では労働条件で20時間もの足止めに遭い、サンパウロ市で予定していた日本人移民開拓先没者慰霊碑参拝や千葉県人会との交流がキャンセルとなりました。そして3日目の午前にイタジャイ市の隣町にあるナベガンテス空港に辿り着きました。

空港にはイタジャイ市の職員が出迎えてくださり、すぐに市のバスでイタジャイ市を目指し出発いたしました。到着したのは、イタジャイ市日伯文化協会（ANBI）の集会所です。10年前は建設中でしたが、立派なANBIの方々の憩いの場となっているようでした。30人程の方々が迎えてくださいましたが、多くの若者がいて年月を感じました。でも若者達も日本には熱い憧れを持っているようで、結成したばかりの和太鼓演奏、たくさんのブラジル料理にご飯、味噌汁、白菜の漬物が用意されていて楽しく親交を深めることができました。また、ANBIの40代の会長岡田氏、昨年、今年と袖ヶ浦フットサルクラブの子供達のホームステイを引き受けてくださっている佐藤氏は3日間我々訪問団と行動を共にしてくださいました。今後、市民レベルの交流には欠くことのできないお二人だと思います。

「袖ヶ浦への道」という公園の赤い鳥居の横には10年前に訪れた時の記念プレートがあり、私を含めて訪問した人の名前が刻まれていました。また、ホームビジットで我が家にいらして下さった前商工会の会頭の御家族が会いに来てくださったりと感激の時間を味わいました。その他市内の各所を視察、両市の共同宣言書を取り交わすところを目の当たりにして、短い時間でしたが、たくさんの経験ができました。

私は出口市長の「来て良かった」の一言が心に残っています。遠い国の姉妹都市ですが、市民レベルの交流を国際交流協会として希望と楽しみで増々推し進めて行こうと思われる今回の訪問でした。

## Ⅱ 公式訪問の目的

本市とブラジル連邦共和国サンタカタリーナ州イタジャイ市は、昭和54年1月に姉妹都市提携に関する共同宣言を取り交し、今年で37年目を迎えた。

これまで、公式訪問団の相互訪問や市民使節団の派遣などを行ってきたが、本市からの公式訪問は、平成19年度以降は東日本大震災などの影響により見送っており、今回、これまでの交流の成果を確認し合うとともに、今後の交流の促進につなげることを目的として公式訪問を行った。

## Ⅲ 訪問団名簿

	職	氏 名	備 考
1	市 長	出 口 清	行政代表
2	議 長	田 邊 恒 生	市議会代表
3	国際交流 協会会長	大 岩 澄 枝	市民代表
4	随 行	原 田 拓	議会事務局 班長
5	随 行	関 秀 典	市民活動支援課 主査

## IV 行程

月 日	発着／滞在地	発着時間 (現地時間)	視 察 内 容 等
1 7月21日 (木)	袖ヶ浦市発 成田空港発  シカゴ空港着	13:00 17:50 15:00	空路、シカゴ経由(トランジット)にてサンパウロへ  ※ 悪天候による航空機の遅延(空港内ロビー床にて仮眠)
2 7月22日 (金)	シカゴ空港発  サンパウロ空港着	11:30  23:30	※ 上記遅延により予定をキャンセル
3 7月23日 (土)	(サンパウロ市) ホテル着  サンパウロ空港発  ナベガンテス空港着 (イタジャイ市)  ホテル着	00:30  10:10 11:15  18:50	○ イタジャイ市日伯文化協会訪問 ○ 農園の視察 ○ 農業祭の視察 ○ ワイン醸造所の視察
4 7月24日 (日)	(ブルメナウ市)  (イタジャイ市)	午 前  午 後	○ ブルメナウ市の視察  ○ イタジャイ港湾施設の視察
5 7月25日 (月)	(イタジャイ市)	午 前  午 後	○ 袖ヶ浦への道(袖ヶ浦公園)の視察 ○ イタジャイ歴史博物館の視察 ○ 魚市場の視察 ○ イタジャイ市主催昼食会 ○ イタジャイ市役所表敬訪問 ○ イタジャイ市商工会議所懇談会 ○ イタジャイ市主催夕食会



月	日	発着／滞在地	発着時間 (現地時間)	視 察 内 容 等
6	7月26日 (火)	ホテル発 ナベガンテス空港発 リオデジャネイロ着 (リオデジャネイロ市)  ガレオン空港着 ガレオン空港発 (機内泊)	06:30 08:05 09:30  18:00 21:10	空路、リオデジャネイロへ  オリンピック会場視察(主にバスの車窓から) ・ マラカナン競技場(開会式・閉会式等) ・ コパカバーナ海岸(ビーチバレー等) ・ サンボドロモ(マラソン・アーチェリー) ・ ロドリゴ・デ・フレイタス湖(ボート・カヌー)  空路、ヒューストン経由(トランジット)にて帰国
7	7月27日 (水)	ヒューストン空港着 ヒューストン空港発 (機内泊)	05:25 13:40	
8	7月28日 (木)	成田空港着	16:30	

※ サンパウロ市宿泊ホテル HOTEL PULLMAN GRU

※ イタジャイ市宿泊ホテル HOTEL MARAMBAIA CABECUDAS

## V 公式訪問の内容（行程ごとに記載）

### 《1日目》 7月21日（木）

午後1時に袖ヶ浦市を出発。午後5時50分に成田空港からアメリカ・シカゴ経由（トランジット）にて、ブラジル・サンパウロへ向けて出発。

約11時間30分の飛行後、現地時間の午後3時にシカゴ空港に到着。

シカゴ空港を午後8時55分に出発する予定であったが、天候不良により出発できず機内で待機した後、乗務員の労務時間超過のため、翌日の22日（金）午前11時30分まで出発が遅延された。このため、遅延となった約10機の乗客、私たちを含む約3,000人がシカゴ空港で毛布の支給を受け、空港内ロビーの床で仮眠をとった。悪天候に伴う対応ではあったが、約20時間にわたりシカゴ空港で食事もままならない状況での待機となり、これによって22日（金）にサンパウロ市で予定されていた行事はすべてキャンセルとなった。

### 《サンパウロ市で予定されていた行事（キャンセル）》

- ・ 日本人移民開拓先没者慰霊碑参拝
- ・ 千葉県人会館訪問
- ・ ブラジル日本移民資料館訪問
- ・ 東洋人街視察
- ・ 千葉県人会役員と会食



▲成田空港出発前



▲シカゴ空港ロビーの床で仮眠

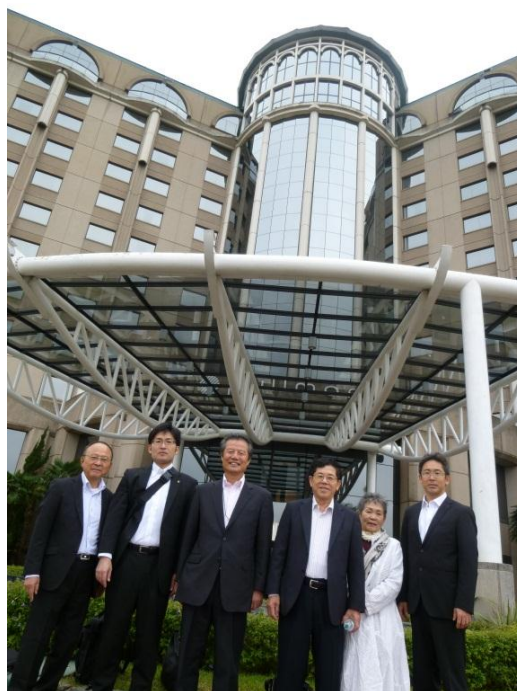
## 《2日目》 7月22日（金）

シカゴ空港を午前11時30分に出発し、約10時間の飛行後、現地時間の午後11時30分にサンパウロ空港に到着。

宿泊予定であったサンパウロ市内のホテル（HOTEL MATSUBARA）は、サンパウロ空港から移動に1時間30分程かかるため、予定変更に伴う翌日の早朝出発を考慮し、宿泊先を空港隣のホテル（HOTEL PULLMAN GRU）に変更した。



▲サンパウロ空港に到着



▲HOTEL PULLMAN GRU  
(イタジャイ市へ出発の朝)

## 《3日目》 7月23日（土）

サンパウロ空港を午前10時10分に出発し、午前11時15分にナベガンテス空港（イタジャイ市の隣接市）に到着。

イタジャイ市職員のアマラウ氏、イタジャイ市日伯文化協会（ANBI）の岡田実 会長、佐藤 吾介 前会長の出迎えを受ける。

この日は、ANBIによる歓迎会と市内の農園、農業祭、ワイン醸造所を視察した。



▲ナベガンテス空港に到着

## ○ イタジャイ市日伯文化協会（ANBI）歓迎会

ナベガンテス空港からイタジャイ市手配の車両によりANBI本部へ向かい、岡田会長、佐藤前会長をはじめ二十数名の会員の歓迎を受ける。

ANBIは、現地の日系人を主体に構成されており、これまでも本市からの公式訪問団や市民使節団が訪問した際には、視察先との調整や歓迎会などを開催してくれている。今回の歓迎会では、岡田会長の挨拶に始まり、出口市長と田邊議長が挨拶を行った。

また、在クリチバ総領事館の池田 敏雄 総領事からも挨拶をいただいた。

挨拶の後は、記念品の交換やANBIの方々による手料理をいただきながら、お互いの情報交換を行うなど和やかな雰囲気の中で、交流を深めることができた。ANBIの方々には、老若男女様々だが、日本、そして袖ヶ浦市に対しての興味や想いを持っていた。

また、ANBIでは、3か月前より、日本文化を継承するため和太鼓の練習を始めたとのことであり、練習の成果を披露していただいた。まだ太鼓団としての名前が決まっていないとのこと、訪問団に命名の依頼があったため、袖ヶ浦市のマスコットキャラクターに因み「響太鼓ガウラ」と命名した。



▲イタジャイ市日伯文化協会（ANBI）本部に到着  
（写真右：ANBI 会員）



▲挨拶する出口市長



▲在クリチバ総領事館池田総領事と  
名刺を交換する田邊議長



▲ANBI 会員の皆さんと



▲挨拶する大岩会長



▲ANBI 会員による和太鼓パフォーマンス

## ○ 農園

初めに、日系人の石井氏が管理運営をしている農園を視察した。農園では、7ヘクタールの農地に70種類もの果物を栽培している。イタジャイ市の農業は稲作が中心であり、果物栽培農家は少ないとのこと。



▲農園視察の様子

## ○ 農業祭

農業公園（ジウマール・グラフ）で行われている農業団体主催の農業祭を視察した。ここでは、ジャンジール・ベリーニ市長、ダウヴァ副市長の出迎えを受け、会場内の案内をしていただいた。イタジャイ市の土地の8割は広大な農地で、農家は約300戸あるとのこと。農業祭は、市内18の地区の農業団体が一堂に会し、市内で生産された農作物で様々な飲食物が振る舞われるイベントである。ステージでは、バンドによる音楽が披露されるなど、大変賑やかな催しであった。

また、私たちが姉妹都市である袖ヶ浦市からの公式訪問団であることが紹介され、歓迎を受けた。



▲イベント会場の様子



▲会場にある様々な果物

## ○ ワイン醸造所

最後に、ワイン醸造所 VINHOS FINOS を視察した。イタジャイ市内で一番最初にできたワイン醸造所。良質な葡萄を収穫した年のみワインを醸造し、大変な労力と時間をかけワイン造りをしている。また、ここで醸造されたワインは、世界大会に出品され、様々な賞を受賞している。

この施設は、市郊外のブラジル特有の樹木に囲まれた、森林地帯の高台の景勝地に立地しており、隣接地にはレストランが併設されて、ワインや料理も楽しめる市民の憩いの場にもなっていた。



▲ワイン醸造所



▲醸造所内の様子

## 《4日目》 7月24日（日）

イタジャイ市のアルヴェス・イヴォネ観光部長、サントス・アンドレア観光課長の案内により、ANBI会員とともに、近隣のブルメナウ市及びイタジャイ港を視察した。

## ○ ブルメナウ市

ブルメナウ市は、ドイツ人移民が作り上げた人口約30万人の町であり、歴史を感じさせるドイツ風の街並みが特徴的な町で、市庁舎もドイツ風の建築であった。

当日、市運営のホール施設では、民間団体（イタリア人社会）主催によるイタリア祭が開催されており、多くの市民の歌やダンスが披露されるとともに、イタリア料理・ブラジル料理を中心に、沢山の模擬店が並び大変な賑わいであった。また、会場で私たち訪問団が持参した折鶴を披露するなど、市民との交流も図ることができた。なお、10月にドイツ系住民が中心となって行われるオクトーバーフェスタは、より盛大に開催されており、多くの観光客で賑わうとのこと。

このようにブラジルは移民の国であるため、出身国別の様々な催しが行われているとのことである。



▲ブルメナウ市役所



▲折鶴を披露する様子

## ○ イタジャイ港

世界ヨット大会が開催されるイタジャイ港を視察した。

当日は、ヨットハーバーのオープンイベント「サロン ナウチコ イタジャイ」(港湾祭・展示販売会)が開催されており、ジャンジール・ベリーニ市長の出迎えを受ける。港湾祭・展示販売会では、様々なブースが展示され、イタジャイ市の観光ブースも開設されていた。高級なヨット、クルーザーの展示販売もされており、盛大なイベントであった。



▲イベント会場入口



▲係留しているクルーザー



▲出航するコンテナ船



(説明概要)

- ・ ヨットハーバーは市で整備した。
- ・ 今回は1期整備が完了したことによるイベント開催である。
- ・ 今後は、2期整備、そして周辺にはショッピングセンター等が計画されている。
- ・ 様々なサイズのヨットの係留が可能である。
- ・ 施設使用者の8割はイタジャイ市外の方である。
- ・ 大型客船については、8年前に別の港湾施設が整備されている。
- ・ 市民会館（イベントホール）が隣接している。

## 《5日目》 7月25日（月）

イタジャイ市国際交流担当のアマラウ氏の案内により、袖ケ浦への道（袖ケ浦公園）、イタジャイ歴史博物館を視察。その後は、市内レストランでの昼食会、イタジャイ市役所の表敬訪問、イタジャイ市商工会議所にて懇談会を行った。

### ○ 袖ケ浦への道（袖ケ浦公園）

袖ケ浦への道（袖ケ浦公園）は、本市との姉妹都市10周年記念事業として整備されたもので、鳥居はANBIが贈呈している。このときには、本市も記念事業の一助として、市民などからの協力を得て3万ドルの寄贈をしている。

現地では、過去に本市使節団が植樹した木（イタジャイ市花であるブーゲンビリア等）及び記念碑も大切に管理されていた。

袖ケ浦への道を中心に、周辺も公園としてサイクリングコース、歩道、遊具、運動器具等が整備されており、市民の憩いの場となっていた。



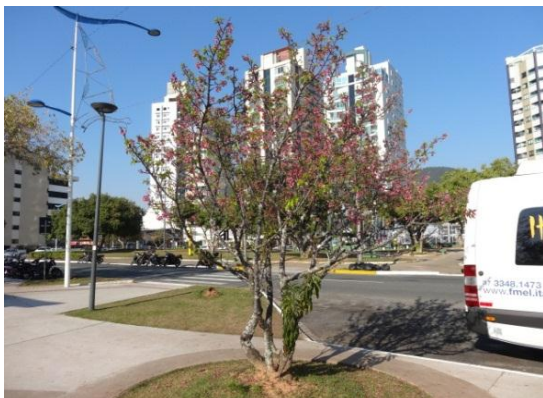
▲「袖ケ浦への道」にある鳥居  
路面には袖ケ浦の市章が施されている



▲ウォーキングを楽しむイタジャイ市民



▲運動器具で運動するイタジャイ市民



▲桜の木  
(平成2年度訪問団植樹)



▲ブーゲンビリア  
(平成19年度訪問団植樹)

## ○ イタジャイ歴史博物館

イタジャイ歴史博物館（マルコ・コンデルパレス）では、アジェ・ピニエイロ館長、フロリアーノ副館長に案内をしていただいた。

歴史博物館は、市庁舎及び市議会議場であった建物を1999年に改修し、歴史博物館としたもので、現在は、新たに2号館の建築と併せて改修を行っている。改修後は近代的な建築物となる。



▲イタジャイ歴史博物館



▲日本人形（昭和55年度訪問団寄贈）

(説明概要)

- ・ マルコ・コンデル氏が市長として1925年に市庁舎を建築した。
- ・ 建築当時は、大きすぎるとして批判されたようだが、その後町は大きくなり、先見の明があった。イタジャイの発展に尽力した方であり、その名前を冠している。
- ・ 約1万2千点の展示物がある。
- ・ 2号館はガラス張りの近代的な建物となる。
- ・ 建築当時の床や調度品が残っている。
- ・ イタジャイ市は水害が多いため、当博物館は高床式の構造となっている。

## ○ 魚市場

サメなど大型魚を取り扱っている魚市場を視察。1917年にできた市場で、魚のほかに、雑貨等のお土産品も売っている。現在、メインの魚市場は別の場所にある。

イタジャイ市は、中南米で最大規模の漁船用の港（約300隻）があり、国内最大規模の缶詰工場もある。



▲大きな魚が陳列

## ○ イタジャイ市主催昼食会

ジャンジール・ベリーニ市長、フロリアーノ歴史博物館副館長、アマラウ氏、市職員との会食。

(伺った話)

- ・ 日本へ輸出している鶏肉のほとんどはイタジャイ市の港から輸出している。
- ・ 袖ヶ浦への道（袖ヶ浦公園）周辺に設置しているような運動器具は、市内60箇所に設置している。
- ・ 農業公園は、農業関係のイベント等に使用してきた。しかし、維持費等を考慮し、最近では大掛かりな展示をなくし、感謝祭のような農業関係のイベントのみになっている。他の商業的なイベントは、港湾地区のイベントホールで行っている。
- ・ イタジャイ市は、農業は多くない。農家は300戸程度であるが、ある程度



▲昼食会の様子

の面積を占めており、維持もしてきているので、市としても支援を行っている。しかし、この辺の港湾都市は、工業関係が強い。

- ・ 港湾の整備は政府が行い、維持管理は市が行う。
- ・ 道路の整備は、国道、州道、市道と別れている。維持管理を公団等に移管することにより、道路状況は良くなった。
- ・ 道路交差点部に減速のための段差設置については、安価な経費でできるものだが、消防車、救急車等に支障があるので、最近では簡単には設置できない。ブラジルと日本の文化の違いもあると思う。

## ○ イタジャイ市役所表敬訪問

ジャンジール・ベリーニ市長の案内により、イタジャイ市役所を表敬訪問。ダウヴァ副市長、カンバラ市議会代表（議長代理）、市職員幹部、商工会議所会頭、A N B I の出迎えを受ける。

はじめに、ジャンジール・ベリーニ市長より歓迎の挨拶があり、続いてカンバラ市議会代表、出口市長、田邊市議会議長が挨拶を行った。

続いて、記念品の交換、ジャンジール・ベリーニ市長への感謝状の贈呈、両市の紹介、そして今後も未来に向けて、友好の絆をより一層深めるための交流事業を推進することを確認し共同宣言書を取り交わした。

### (1) 挨拶

(ジャンジール・ベリーニ市長の挨拶概要)

今日は、袖ヶ浦市からお越しいただき本当にありがとうございます。姉妹都市として37年になりますが、袖ヶ浦市が姉妹都市であることを我々は大変光栄に思っています。37年の長きにわたりイタジャイ市と袖ヶ浦市は姉妹都市として今日まで色々な交流があり、大変な成果があったと思います。

姉妹都市の関係においては様々な交流があります。

文化、経済、最近では少年のスポーツ、サッカーの交流が盛んに行われています。先ほど、出口市長より、道路の整備状況について質問がありましたが、それは文化の違いであるとお話しました。そういう文化の違いはありますが、地球の反対側



▲ジャンジール・ベリーニ市長

にある東洋の都市、礼儀を守り、モラルもある袖ヶ浦市の市民と交流できることは大変光栄であります。

出口市長は、今回はじめて訪問していただき、大変光栄であります。歓迎いたします。

袖ヶ浦市は、経済的にも豊かであり、国際企業がいくつも立地していると聞いています。イタジャイ市でも研究施設を整備しているので、そういった企業にもご紹介していただき進出していただければと、是非そういったお手伝いもしていただきたいと思います。

#### (カンバラ市議会代表（議長代理）の挨拶概要)

イタジャイ市の市議会を代表しまして挨拶いたします。イタジャイ市と親しくしている姉妹都市として、大変長い道中を経て、本当によろこそいらっしやいました。

袖ヶ浦市という名称は大変重要であります。私は二つのポイントで袖ヶ浦市という名前を知りました。一つ目に私がその名前を聞いたのは、私がまだ学校で勉強をしているときです。袖ヶ浦市から使節団が来ていたためだと思いますが、学校で袖ヶ浦市という名前をよく聞きました。



▲カンバラ市議会代表

二つ目は、海岸沿いに整備されている袖ヶ浦への道という公園があり、市民の憩いの場となっています。この二つのポイントで袖ヶ浦市をよく知っています。

日本の文化は非常に素晴らしいものがあります。我々もそういったものを少しでも取り入れていきたいと思っています。

今日は皆さん、本当によくお越しくございました。姉妹都市として、仲間としての想いでいます。今後とも長いお付き合いをさせていただければと思っていますので、よろしくお願ひします。

今回は、是非イタジャイ市のことをよく見ていってください。

(出口市長の挨拶概要)

皆様とお会いできることを楽しみにしていました。本日は、このように皆様に歓迎していただき大変うれしく思っています。また、お忙しい中、公式訪問を受け入れていただきました市長をはじめ、市関係者の皆様には心から厚く御礼申し上げます。



▲挨拶する出口市長

さて、イタジャイ市とは1979年1月に姉妹都市提携をしまして、今年で37年となります。この間、公式訪問や少年サッカーチームの相互訪問による交流試合など様々な交流を行ってきました。このような交流が続けられたことは、市長をはじめ、市民の皆様の深い友情の証だと思っています。また、近年では袖ヶ浦フットサルクラブが海外研修としてイタジャイ市を訪れています。滞在中には特段のご配慮を賜りまして、この場をお借りしまして御礼を申し上げます。

本日は、限られた時間ではございますが、両市の現状について情報を交換しまして、本市とイタジャイ市との新たな交流のきっかけとなればと思っています。

終わりに、両市の交流が末永く続くことを希望するとともに、イタジャイ市のご発展と本日お集まりの皆様のご健勝をご祈念いたします。

(田邊議長の挨拶概要)

本日は、このような、盛大なお出迎えをいただき、誠にありがとうございます。

今回、議会の代表として、出口市長 及び 大岩国際交流協会会長とともに、御市を訪問させていただきました。

4日間の滞在でしたが、今回の訪問が実り多きものになることを期待し、また、両市の友好の輪が更に広がることを願っております。

滞在中、イタジャイ市の皆様には、大変お世話になり、ありがとうございました。



▲挨拶する田邊議長

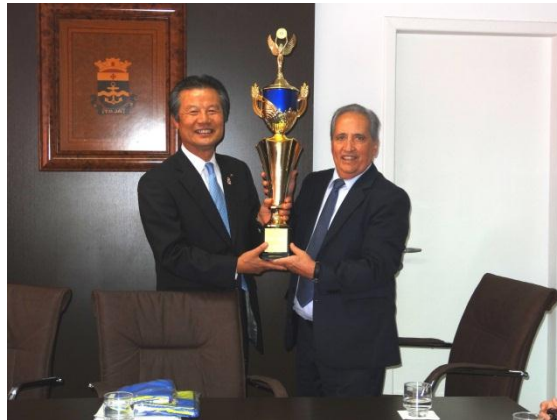
## (2) 記念品の交換

### 《イタジャイ市から受贈》

- ・ 市旗
- ・ トロフィー

1983年にイタジャイ市から、イタジャイ杯（本市でイタジャイ市との姉妹都市提携を記念して開催されている少年サッカー大会）の優勝チームへのトロフィーが贈られたが、多くの大会を経て傷んできたため、今回、新たなトロフィーの寄贈を受けた。

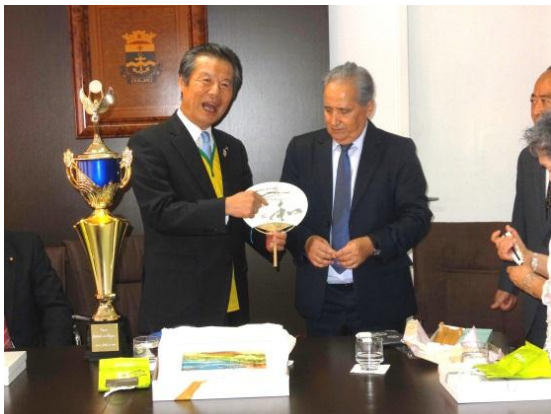
- ・ 水彩画



▲イタジャイ杯トロフィー

### 《イタジャイ市へ寄贈》

- ・ 市旗
- ・ 飾り扇子
- ・ お茶
- ・ 袖ヶ浦高校書道部生徒の揮毫による団扇
- ・ 市民ボランティアが作製した折鶴
- ・ 出口市長直筆の色紙
- ・ ガウラのピンバッジ及びキーホルダー



▲袖ヶ浦高校書道部生徒の揮毫による団扇



▲出口市長直筆の色紙

### (3) 感謝状の贈呈

ジャンジール・ベリーニ市長は、平成13年度及び15年度に来袖し、姉妹都市交流に多大な貢献をされたことから感謝状を贈呈した。

(ジャンジール・ベリーニ市長の謝辞概要)

大変感激している。私も何かしなくてはいいないと考えます。

私は、市長として16年間、袖ヶ浦市との姉妹都市に関わってきましたが、来年1月には、市長ではなくなります。この間ずっと、袖ヶ浦市との交流の中で袖ヶ浦の皆さんからいただいた友情とおもてなしを忘れることはないでしょう。

今後、市民として袖ヶ浦市を訪れて、旧友と会い、袖ヶ浦市及び日本の素晴らしい文化を感じたいと思います。感謝状は、友情の証としたいと思います。



▲感謝状贈呈の様子

### (4) 両市の紹介

袖ヶ浦市、イタジャイ市のプロモーションDVDを放映し、両市の様子について紹介を行った。

《イタジャイ市紹介内容》

- ・ 港を中心として発達した都市
- ・ 漁業の町としても盛んであり、コンテナの出荷数でも国内2位
- ・ ヨット・クルーザーの所有、稼働数についても国内1位
- ・ 世界一周ヨットレースのラテンアメリカ寄港地にイタジャイ市が選ばれている。
- ・ 大規模な研究施設を整備しており、研究・開発にとって最高の都市を目指している。
- ・ 交通網に関しても環境整備を併せて進める。
- ・ IT技術について、計画を策定して活用していく。
- ・ 技術的・資金的な面で皆さんに参加してもらうために、PRビデオを作成している。
- ・ 商業地域、研究地域、住居地域について、計画的に整備を進めている。
- ・ 緑化についても整備を進めている。



▲DVDによる紹介の様子



《主な意見交換》

イタジャイ市…イタジャイ市のプロジェクトは、イタジャイ市だけではなく州、民間、大学も加わり進めているが、政府の手続きにより3年程遅れている。

袖ヶ浦市…椎の森工業団地は、企業に土地を売却、貸借、その他の方法、いずれによるのか。

袖ヶ浦市 …土地の整備・造成、道路等のインフラ整備を行い、企業に売却する。

イタジャイ市…販売価格について、特別に条件を設定しているのか。

袖ヶ浦市 …椎の森工業団地は千葉県と市の共同で整備している。企業を誘致するため、原価よりも下げて販売している。

1期に整備した区画では、既に12社が操業している。現在は2期の区画として、1期の約2倍の面積を整備しており、来年に造成が完了する。現在、県と市で誘致活動を行っているが、希望する企業がどんどん手を挙げてきている。市としては、従業員を多く雇ってくれる企業に来てもらいたいと考えている。従業員の雇用を確保すると同時に、企業には収益を上げ納税してもらおうことで、それを財源にまちづくりを進め、市民生活を良くしていきたい。

袖ヶ浦市 …人口20万人に対し、市職員が6,200人となっている。どういった業務内容なのか。

イタジャイ市…小中学校教師も市の職員であるが、学校教師だけで3,600人いる。生徒は3万人いるので、そのくらいの教師は必要である。その他にも病院職員が1,700人であり、学校と病院だけで5,300人となる。110の学校、40の保健施設がある。

市役所で勤務しているのは400人程度。警察は、州と役割が分かれているが、市の警察職員は300人である。消防職員は州となる。

袖ヶ浦市 …日本では、小中学校の教諭、警察は県の職員である。病院は、ほとんどが民間である。

イタジャイ市…人件費だけで、毎月13億円程度の支出になる。

また、約11,000人の保育園児がいる。保育園は、朝7時から夜7時までであるが、食費、おむつ等は全て無償としている。

袖ヶ浦市 …働いている女性が多いと聞いたが、保育園が充実しているためだと思う。見習わなければいけない。

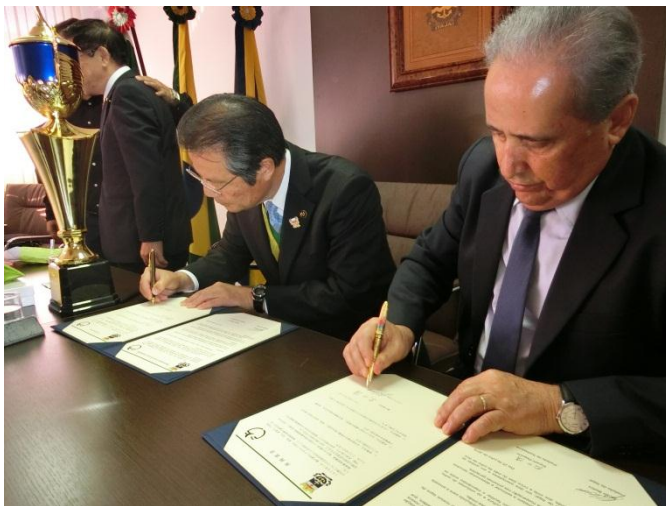
イタジャイ市…ブラジルほど子育てに良い国は無い。

## (5) 共同宣言

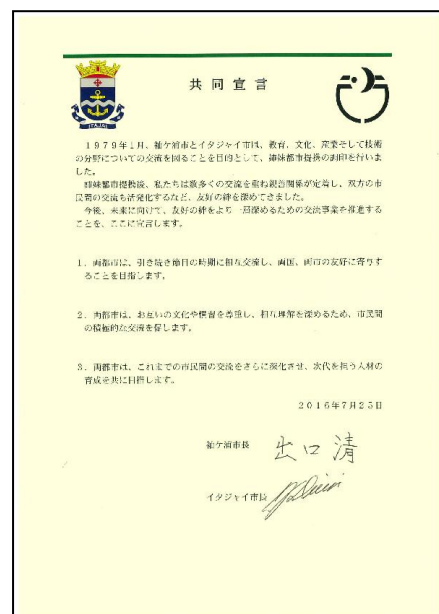
今後、未来に向けて、友好の絆をより一層深めるための交流事業を推進することを確認し、両市長が共同宣言書に署名した。

### 《共同宣言の内容》

1. 両都市は、引き続き節目の時期に相互交流し、両国、両市の友好に寄与することを目指します。
2. 両都市は、お互いの文化や慣習を尊重し、相互理解を深めるため、市民間の積極的な交流を促します。
3. 両都市は、これまでの市民間の交流をさらに深化させ、次代を担う人材の育成を共に目指します。



▲署名する出口市長とジャンジール・ベリーニ市長



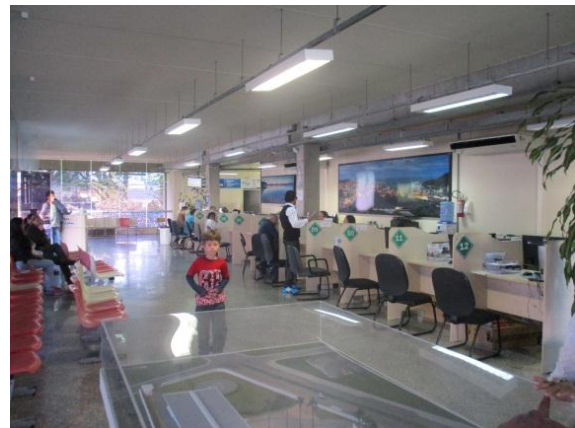
▲共同宣言書

## (6) その他

- ・ イタジャイ市は、市長と副市長セットで選挙にでる。日本の市長が副市長を任命するということに驚いていた。
- ・ 市長交代により、市職員も全て変わる。
- ・ イタジャイ市役所の窓口は現在、正午から始まる。本来8時間労働で1時間の休憩を設けなければならない。しかし、経済状況が非常に悪化して賃金支払いが困難になってきたため、労働時間を減らし6時間勤務とし、休憩もなくしている。市職員は、勤務時間以外に他の仕事で稼いでも構わない。経済状況が好転すれば、元に戻す予定である。
- ・ 正午からとしているのは窓口だけであり、現場は9時から18時まで動いており、職員は交代勤務としている。



▲イタジャイ市役所



▲イタジャイ市役所窓口の様子

## ○ イタジャイ市商工会議所

イタジャイ市商工会議所では、『袖ヶ浦市とイタジャイ市の経済と社会』をテーマに懇談会を行った。

壇上にはパネリストとして、シルヴァ商工会議所会頭、出口市長、田邊議長、アマラウ氏が登壇し、会場には、イタジャイ総合大学学長ほか会員45名程度が出席した。

はじめに、両国の国歌を斉唱し、出口市長、田邊議長、シルヴァ会頭、サントス学長より挨拶があった。



▲質問に回答する出口市長

### 《主な意見交換》

会頭 …イタジャイ市は、経済地域の真ん中に位置しています。サンパウロからは約600km、アルゼンチンにも約600kmであり、この半径の中でのかなりの経済力があります。

港湾での輸送も大きいですが、隣接するナベガンテス空港では、昨年160万人の利用があり、港湾だけでなく空港利用者も含め、イタジャイ市周辺での交流人口があります。

港湾と空港の2つで、世界中の至るところにコネクションを持つことができ、イタジャイ市は世界中に繋がることができます。

次に、袖ヶ浦市の経済力について教えていただきたいと思います。

袖ヶ浦市…袖ヶ浦市は、イタジャイ市と比較しますと3分の1程度となります。人口が約6万2千人、面積が約95km<sup>2</sup>となります。

面積も人口も小さな市ではありますが、経済力は誇っております。日本でも有数の工業地帯を海岸部に抱えています。世界でも有数のLNG基地も立地しています。

そのLNGを使つての火力発電所、ガスの製造、石油化学の関連等々が揃っています。日本でも有数の事業所が約100社立地しており、製品の年間出荷額は1兆2千億円を超えています。そのため、市の財政力も比較的豊かです。

もう一つ、袖ヶ浦市の良さとして、首都東京に近いということがありません。東京の羽田空港まで高速バスで22分で到着できます。

このようなことから、日本全体では人口減少化に突入していますが、袖

ケ浦市は、人口は少ないですが、少しずつ増加傾向にあります。  
工業地帯を抱えていますが、一方、内陸部では農業も盛んです。日本の代表的な主食でありますお米、そして野菜、酪農が盛んです。  
面積、人口はイタジャイ市に負けますが、住み良さはイタジャイ市にも劣らないと思っています。

会員 …市職員の数が圧倒的に違うということを知りましたが、その状況について。  
袖ケ浦市…イタジャイ市の市職員は6, 200人と聞きました。一方、袖ケ浦市の職員は620人です。この違いですが、イタジャイ市は、様々な病院、教員を市で雇用していると聞きました。本市では、教員、警察は県、病院は民間と分担しながら仕事をしており、市の職員は少なくなっています。

会員 …経済力の秘密について教えてください。

袖ケ浦市…日本でも有数の工場地帯があります。日本が発展していく過程で海岸を埋め立て、工場地帯を誘致しました。そして、首都圏に近い立地性により様々な企業がはりついてくれました。しかし、危機感も感じており、石油化学系の日本有数の企業がグローバル展開をしており、サウジアラビアやシンガポールなどに転出しています。そのため、企業の皆様に、もう一度戻ってきてもらうことや、工場を増設してもらうためのインセンティブとして、工場を増設や新規開業の際には、固定資産税を納付後に還付する制度を設けています。

また、新たな工業団地を千葉県と一緒に造成しており、現在、企業誘致を活発に展開しています。来年度に企業誘致できるよう造成を進めており、造成の費用は大規模となりますが、企業に来てもらうために販売価格を下げて設定しています。

会員 …工場を立地する際の許可等手続きについて教えてください。

袖ケ浦市…大気汚染、水質基準、緑化基準等が決まっており、環境に悪影響がでないようにすることは、しっかりと確保しなければなりません。

袖ケ浦市…会員の皆さんは、会社として加盟しているのか、個人として加盟しているのか。

会頭 …会社として加盟しています。

袖ケ浦市…どのような分野、割合となっているのか。

会頭 …会社の数で、60%がサービス業、30%が商業、10%が工業となります。取扱い量等ではありません。  
商工会議所に加盟している企業で、イタジャイ市の総生産の95%を占めています。

会員 …イタジャイ市から、姉妹都市である袖ヶ浦市の工業団地に進出する場合の恩恵について。

袖ヶ浦市…海外の企業ということでの恩恵は特にありません。椎の森工業団地は立地条件が良く、首都圏に近く、高速道路で縦横無尽に結ばれている。また、インフラ整備が整っている。そのため、完売に近い状況になりつつある。

(イタジャイ市商工業の概要)

- ・ イタジャイ市商工会議所には、900の企業が会員として参加している。
- ・ イタジャイ市は、輸出入を中心にサンタカタリーナ州で2番目に生産高のある市である。
- ・ 現在、ブラジルは経済的に悪い状況になっているが、イタジャイ市では土木業が盛んであり、この土木業は堅調である。
- ・ イタジャイ市は、ブルメナウ市などのように大きな重工業はないが、様々な職種が活躍しており、経済力を保っている。
- ・ 港での活動が活発であり、コンテナ輸送に関しては、ブラジル国内2番目となっている。その中でも農業関係が盛んで、豚肉など冷凍肉の輸出高においてはブラジル国内1位である。
- ・ イタジャイ市は、保管倉庫の整備が進んでおり、16万tの冷凍肉の保管能力がある。冷凍肉の処理能力は半月に16万tであったが、最近では32万tにまで向上している。ブラジルだけでなく、南米にこれだけの保管能力のある港は他にない。
- ・ 現在、ブラジルは経済的に良くない状況であるが、ブラジルの平均から見ると、かなり良いレベルでイタジャイ市の経済は発展している。

## ○ イタジャイ市主催夕食会

イタジャイ市主催の夕食会では、ANBIの岡田会長、佐藤前会長やその他会員、アマラウ氏、フロリアーノ歴史博物館副館長、イタジャイ市商工会議所職員等と懇談し、イタジャイ市滞在中の思い出や日伯両国の事情などを語り合うとともに、今回の公式訪問での様々な場所での歓迎や便宜を図っていただいたことに感謝の意を伝えた。



▲夕食会場前にて

## 《6日目～8日目》 7月26日（火）～28日（木）

イタジャイ市の公式訪問を終え、ナベガンテス空港から帰路についた。リオデジャネイロ市では、オリンピック施設会場の視察を行った。

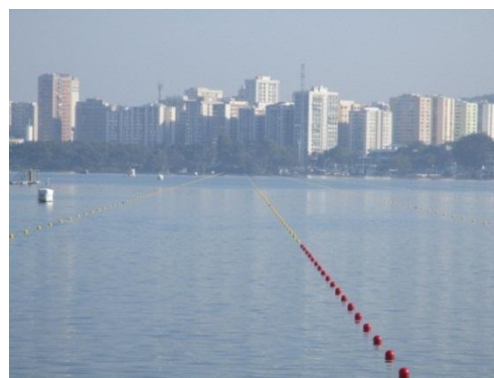
ガレオン空港を現地時間26日の21時10分に出発し、ヒューストン空港を経由して日本時間28日の16時30分に成田空港に到着した。

### 《オリンピック会場視察先》

- ・ マラカナン競技場(開会式・閉会式等)
- ・ コパカバーナ海岸(ビーチバレー等)
- ・ サンボドロモ(マラソン・アーチェリー)
- ・ ロドリゴ・デ・フレイタス湖 (ボート・カヌー)



▲マラカナン競技場



▲ロドリゴ・デ・フレイタス湖

## VI 姉妹都市交流の検証及び今後の交流のあり方について

### ○ 姉妹都市交流の検証

姉妹都市の提携以降、公式訪問団が相互に訪問を行うとともに、行政だけではなく、現在の国際交流協会の前身である「袖ヶ浦町海外友好親善推進協議会」や民間団体の「太陽の友達の会」などを中心として、市民使節団の派遣などを実施してきた。これまでに、本市から、公式訪問団は11回で延べ115名が、市民使節団は4回で延べ37名がイタジャイ市を訪問している。イタジャイ市からは、公式訪問団が10回で延べ109名、来袖しており、小中学生などが、滞在中の学校体験やスポーツ交流などを通じて、お互いに交流を深めるなど、異文化に触れる貴重な機会となっていた。また、イタジャイ市における水害に対する支援や名称に袖ヶ浦を冠する「袖ヶ浦への道」が整備されるなど良好な関係を築いてきた。

今回の公式訪問では、イタジャイ市の3度にわたる水害に対して、本市から義援金や応急物資を支援したことについて、市長から深い感謝の意が示された。また、イタジャイ歴史博物館では、訪問団が寄贈した記念品が大切に管理・展示されており、「袖ヶ浦への道」では、訪問団が植樹したブーゲンビリア等の手入れや清掃等の管理が行き届き、週末には多くの市民で賑わう公園となっていた。市民との交流では、イタジャイ市をはじめ、各団体による様々な歓迎行事が行われ歓待を受けた。

こうした交流の成果は、37年にわたる姉妹都市交流活動を通して相互理解を図り、信頼関係を築き上げてきた現れであり、今後も様々な分野における交流事業を一層推進し、協力関係を深めていくための基盤として、本市とイタジャイ市、またその市民の間で確かな親善関係が築かれていることを確認できた。

現在、ブラジルの政治、経済情勢には停滞感が漂うものの、自動車・航空機などの機械工業を中心とした工業化が著しく進展しており、石油・鉄鉱石などの鉱物資源、食糧資源にも恵まれ、世界第7位のGDPを記録、さらにオリンピックを開催するまでに発展してきた。

イタジャイ市は、工業化が飛躍的に進み、観光面でも世界規模のヨットレースを誘致するなどの成果を挙げており、人口は20万人を突破するほどの発展を遂げており、今後も国際交流のパートナーとして期待できる都市である。



## ○ 今後の交流のあり方について ～さらに充実させていくために～

### (1) 多文化共生の取組みと姉妹都市交流

本市は平成27年度に「袖ヶ浦市国際化基本方針」を策定し、『多文化が共生する豊かなまちづくり』を基本理念に掲げ、その実現のため、『多文化共生のまちづくり』及び『国際交流活動の推進』を基本目標に国際化に取り組むこととした。

同方針で、姉妹都市交流については、国際感覚を養う貴重な体験の場で、定期的に公式交流を行うこととしており、市民レベルの交流については、教育・文化・観光など、時代とニーズに合った市民主体の交流事業を検討し推進することとしている。

そのため、姉妹都市交流は、交流すること自体が目的でなく、交流を通しての成果を『多文化共生のまちづくり』に活かしていくことが重要であり、今後はその仕組みづくりを進める必要がある。

具体的には、節目ごとの公式交流は、両市の友好親善の意識を再確認し合うとともに、それまでの交流実績を評価・検討する機会とする。

また、公式交流のほかに、市民レベルでの交流もより活発に行われる必要がある。市民レベルでの交流に参加して、異文化への理解や知識を深めた市民には、その後も国際化に関心を持ってもらう取組み（ブラジル文化等に触れるイベント・研修等への催し等）を通して、交流の成果が一過性で終わらない仕組みづくりを進める必要がある。

一方、袖ヶ浦市の国際化を行政と協働して推進する「袖ヶ浦市国際交流協会」は、近年、新規会員の加入が進んでおらず、会員の高齢化などにより活力の低下や硬直化が懸念される状況にあり、協会活動を活性化するためには、新たな担い手の育成が必要とされている。

このため、姉妹都市交流に参加した市民には、積極的な加入を促すことで、国際交流を担う協会の活動力強化を図ることが必要である。

## (2) 姉妹都市交流の成果等について、市民への情報提供・共有

姉妹都市交流に直接参加できる市民の割合は、現実的には限られたものになるため、交流の実績・成果を広く市民に発信することで、市民と行政が情報を共有することが肝要になる。

このため、姉妹都市交流を行った結果について広く市民に情報提供し、報告会や交流展などを開催する。

また、以前と比較してITやSNSなど情報通信の分野が飛躍的に発展しており、これを積極的に活用して、両市長が相手方の市民に向けビデオメッセージを定期的に交換するなど、お互いが市民に向けた情報発信を進めることで、姉妹都市交流の情報を両市民が広く共有していくことが必要である。

## (3) 継続的な交流推進体制の構築

姉妹都市交流の目的を具体化していくには、両市の交流に対するニーズを把握・調整し、継続的かつ計画的に交流事業を推進することが重要だが、そのためには、継続的にコミュニケーションを図る交流推進体制の構築が必要である。

また、コミュニケーションを図るには、語学力や組織・文化の違いに対する理解などノウハウが必要になるが、本市では、交流事業を進める上で必要なノウハウ等の蓄積が少なく、そうした能力を有する人材の育成も進んでいない。

結果として、姉妹都市についての情報が不足し、どのような政策課題に対して交流することが有効なのか、そのニーズの把握やアイデアの発想が難しい状況にある。

現在は、過去の交流経験者（市職員OB等を含む）の活用によりフォローしているが、今後は、行政だけでなく市民交流を含めて交流事業を推進する人材の育成に努め、また、姉妹都市の現地情報に詳しく、両市間の調整等を行う交流推進コーディネーターの活用などについても検討する。

# 《 資 料 》

## ○ 姉妹都市の選定経過

### (1) 目的

当時の袖ヶ浦町とブラジルの都市が姉妹都市の提携を結ぶことによって、相互の友好、親善が図られ、全世界の平和の希求に資することを目的とし、行政は、友好・親善を図るために行うことが予想される各種事業を市政に反映させ、市民は、市民間が隣人・友人の意識をもって交流することによって広く知識、見聞を広めることを目的とした。

### (2) 目的を達成するために想定していた取組み

- ① 教育関係
  - ・ 学生、生徒、児童の交流
  - ・ 教師や教育行政担当者の交流
  - ・ 青少年の交流
- ② 文化関係
  - ・ 各種作品（絵画、写真等）の交換
  - ・ 文化人の交流
- ③ 経済・産業関係
  - ・ 物産展の開催
  - ・ 技術の交流
- ④ 行政関係
  - ・ 共通問題の研究
- ⑤ その他
  - ・ 市民の交流
  - ・ メッセージの交換

### (3) ブラジル共和国選定の理由

- ① 日本と親密な国である。
  - ・ ブラジルには日系人が多く住んでいる（約78万人）。
  - ・ 昭和53年は日本人移民70周年にあたる。
  - ・ 日本企業が多数進出している。
  - ・ 日本の気候と類似した地域がある。
  - ・ 教育制度が類似している。

- ② 夢のある国である。
  - ・ 発展途上にあり、将来の発展が大きく期待される。
  - ・ 資源の豊富な国である。

#### (4) 姉妹都市提携の条件

姉妹都市提携の相手都市としては、友好・親善に深い関心をもっているとともに、各種事業を本町と連携しつつ、積極的に推進できるような条件を具備した都市であることが最も肝要であり、都市形態についても本町に類似していることが望ましい。

##### ① 地勢

###### i) 位置

広大なブラジル（日本の面積の約2.3倍）地域により風土の差が著しいが、日本の気候に似ている南回帰線以下に位置する都市とし、次の州から選考する。

- ア) サンタカタリーナ州（イタジャイ市、フロリアナポリス市、ラゲーナ市）
- イ) パラナ州（パラナグア市）
- ウ) サンパウロ州（イグアッペ市）

##### ② 景観

本町に似ていることが望ましい。特に本町では工場立地により海面が埋め立てられており、海への哀愁を抱いている町民が多いことから、大西洋に遠浅な海を持った都市を条件にする他、市街地、農用地、山林を形成しており、しかも工場が点在していることが望ましい。

##### ③ 人口

人口規模については、5万から15万人程度が適当である。

##### ④ 産業・経済

発展途上にあるブラジルでは、日本と比較した場合、産業・経済の両面においてやや遅れている地域が多くあると思われることから、本町に似た産業構造あるいは経済状況でなくても良いと考えるが、ある程度農業を振興しているとともに、工場の立地と商店街を形成している都市が望ましい。

##### ⑤ 交通事情

広大な地積を有するブラジルでは、交通網が完備されていない状況である。姉妹都市提携後の交流を図るためにはある程度整備されていることが必要であるので、サンパウロ市から空路、鉄道網、ハイウェイでアクセスの良い都市、

あるいは周辺に整備されていることが望ましい。

⑥ 人種

ブラジル国民は様々な人種からなっている。姉妹都市提携しようとする都市では日系人が居住していることが望ましいが、日系人がいなくても各種事業、活動が円滑に展開できるとすれば、人種については拘らない。

(5) 姉妹都市選定結果

前記の姉妹都市提携の条件に基づき、イタジャイ市、フロリアナポリス市、ラグーナ市（サンタカタリーナ州）、パラナグア市（パラナ州）、イグアッペ市（サンパウロ州）に姉妹都市調査団を派遣し調査した結果、地形、産業、観光、工業などの面で最も類似しているイタジャイ市と交渉したところ市長の快諾が得られたことから、昭和54年1月31日に姉妹都市提携を行った。

《姉妹都市提携共同宣言》

昭和54年1月31日

袖ヶ浦町とイタジャイ市が、教育・文化・スポーツ・産業技術などあらゆる分野での交流をはかることによって、友好並びに協力関係をさらに緊密なものとするとともにひいては世界の平和に貢献するものと信じ、ここに遠く離れた地理的距離や言葉の違いなどの障害をのりこえ、そのきずなをますます強固なものにしていくことを宣言する。

## ○ 姉妹都市提携後の取組み

### ① 教育関係

- ・ 学生、生徒、児童の交流
  - ⇒ S 5 5 中高生 6 人が使節団に参加しスポーツ交流
  - ⇒ S 5 8～ イタジャイ杯争奪少年サッカー大会を開催
  - ⇒ S 6 1 小学 5 年生 1 4 人からなるサッカーチーム使節団に参加し 交流試合を開催
- ・ 教師や教育行政担当者の交流
  - ⇒ S 5 5、S 6 1 使節団に教職員が参加
- ・ 青少年の交流
  - ⇒ S 5 4～ 公式訪問の使節団に青少年相談員が参加

### ② 文化関係

- ・ 各種作品（絵画、写真等）の交換
  - ⇒ 小中学校児童生徒の絵画 9 0 作品を送付
  - ⇒ S 5 5 風景写真など 3 0 作品を送付
  - ⇒ S 6 3 イタジャイ美術展開催
- ・ 文化人の交流
  - ⇒ H 2 3 マレジャーダ祭で井上夫妻が箏曲、尺八の公演

### ③ 経済・産業関係

- ・ 物産展の開催
  - ⇒ S 5 4～ 文化祭、公民館まつりにおいてイタジャイ展を開催
  - ⇒ S 5 7 文化祭においてイタジャイ市から寄贈されたコーヒーを販売し、収益金をイタジャイ市の福祉施設へ寄付
- ・ 技術の交流
  - ⇒ S 6 2 サンパウロからの農業研修生が温室栽培農家で研修

### ④ 行政関係

- ・ 共通問題の研究
  - ⇒ S 5 4～ 1 1 回、延べ 1 1 5 名が使節団として公式訪問

### ⑤ その他

- ・ 市民の交流
  - ⇒ S 5 4～ 袖ヶ浦町海外友好親善推進協議会発足  
(H 8. 6. 6 解散、同日付で袖ヶ浦市国際交流協会設立)
  - ⇒ H 5～ 市民団体「太陽の友達の会」設立

⇒H 6～ 太陽の友達の会を中心とした市民使節団が4回訪問  
⇒H 2 5～ 袖ヶ浦フットサルクラブが大会参加等を通じて交流

・ メッセージの交換

⇒S 5 4～H 5、H 1 9 クリスマスメッセージカードの交換  
⇒ 市長当選時にお祝いメッセージを送付  
⇒ 災害時の見舞状、義援金の送付



## ○ 訪問団の交流経過

### 姉妹都市調印に至るまでの経緯

S53.3.1	姉妹都市研究協議会設置（会長：山田吉彦）
S53.3.29～3.30	国内先進自治体視察 兵庫県神戸市、加古川市
S53.7.1～7.18	姉妹都市調査のため、ブラジル連邦共和国へ調査団派遣
S53.10.19	姉妹都市研究協議会において、提携都市をサンタカタリーナ州イタジャイ市に決定
S53.11.13	イタジャイ市長宛、姉妹都市提携申出の書簡送付
S53.12.12	イタジャイ市長から提携を快諾する旨の回答を受理
S54.1.31	イタジャイ市役所において、袖ヶ浦・イタジャイ両首長出席のもとに姉妹都市調印証に署名

### 姉妹都市調査派遣団

◆日 程：S53.7.1～7.18（18日間）

◆派遣人員：6名

◆派遣者

分野	氏名	役職等
執行部代表	小島 尚	袖ヶ浦町長（団長）
議会代表	山田 吉彦	議会副議長
〃	吉堀 慶一郎	議会総務企画常任委員長
青年代表	茂木 芳和	青少年相談員連絡協議会会長
〃	小野 進	青少年相談員連絡協議会副会長
随行職員	染谷 勝	企画調整室次長

### 姉妹都市提携調印団

◆日程：S54.1.26～2.5（11日間）

◆派遣人員：6名

◆派遣者

分野	氏名	役職等
執行部代表	小島 尚	袖ヶ浦町長（団長）
〃	宮崎 壽夫	収入役
議会代表	石井 政雄	議会議長
〃	藤井 昭和	議会総務企画常任委員長
〃	笹生 定夫	議会公害対策特別委員長
随行職員	染谷 勝	企画調整室次長

## 第1回 姉妹都市使節団

◆日程：S54.7.1～7.16（16日間）

◆派遣人員：16名

◆派遣者

分野	氏名	役職等
執行部代表	大野 和男	助役（団長）
〃	石井 宏	企画調整室長（副団長）
議会代表	飯島 正男	議会議員
〃	花沢 一行	議会議員
教育文化	東平 喜久雄	青少年相談員連絡協議会
〃	在原 輝夫	青少年相談員連絡協議会副会長
〃	御園 豊	教育委員
〃	在原 真也	青年会
商工	水野 幸雄	東京瓦斯(株)袖ヶ浦工場長
〃	石井 敬子	小売業後継者
〃	豊島 節子	小売業後継者
農業	中山 啓一	農業
〃	岩沢 邦男	農業
ボランティア	近藤 利勝	ロータリークラブ
自治	渡辺 四郎	自治連絡協議会
随行職員	柴崎 量英	企画調整室主査

## 第2回 姉妹都市使節団

◆日程：S55.8.6～8.17（12日間）

◆派遣人員：11名

◆派遣者

分野	氏名	役職等
執行部代表	柳瀬 秀雄	教育長（団長）
教師	渡辺 広	根形中
中学生	佐藤 正明	昭和中3年生
〃	高品 淳一	長浦中3年生
〃	森竹 孝行	根形中3年生
〃	黒川 哲	平川中3年生
高校生	中道 登茂子	木更津工業高等専門学校3年生
〃	松井 洋美	君津高等学校3年生
商工	磯野 忠昭	袖ヶ浦商工会
〃	小倉 正光	平川商工会
随行職員	笈川 政登己	企画調整室

## 第3回 姉妹都市使節団

◆日程：S57.7.16～7.30（15日間）

◆派遣人員：6名

◆派遣者

分野	氏名	役職等
執行部代表	阿津 義男	助役（団長）
議会代表	和田 光正	議会議長（副団長）
教育文化	伊藤 昭二	教育委員長 職務代理者
農業	堀切 重晴	農業委員会副会長
自治	藪内 昭太郎	自治連絡協議会副会長
随行職員	太田 郁夫	企画調整室主査

#### 第4回 姉妹都市使節団

◆日程：S59.7.23～8.6（15日間）

◆派遣人員：8名

◆派遣者

分野	氏名	役職等
執行部代表	近藤 英一	収入役
議会代表	木場 富久美	議員
農業	永澤 要	農業委員
自治	多田 柳次	自治連絡協議会会長
ボランティア	多田 辰雄	ライオンズクラブ
商工	須田 日出夫	袖ヶ浦商工会
教育文化	天羽 征雄	社会教育委員副委員長
随行職員	本多 孝治	企画調整室主査

## 第5回 姉妹都市使節団

◆日程：S61.7.29～8.12（15日間）

◆派遣人員：23名

◆派遣者

分野	氏名	役職等
議会代表	高瀬 泰治	議員、少年サッカー連盟会長（団長）
執行部代表	野口 俊夫	総務部長（副団長）
スポーツ活動	山田 邦貴	少年サッカー連盟（監督）
〃	斉藤 実	体育協会（コーチ）
教育	藤崎 岩夫	奈良輪小学校長
〃	花沢 紀	中川小学校教諭
〃	吉田 悦子	蔵波小学校教諭
〃	田村 康子	根形小学校養護教諭
児童	毛塚 寿一	昭和小学校5年生
〃	徳井 洋介	昭和小学校5年生
〃	石渡 博道	奈良輪小学校5年生
〃	峰 幸志	奈良輪小学校5年生
〃	山本 海介	蔵波小学校5年生
〃	石井 哲郎	蔵波小学校5年生
〃	小熊 嘉明	長浦小学校5年生
〃	首藤 涼一郎	長浦小学校5年生
〃	佐久間 智英	根形小学校5年生
〃	大塚 安輝	根形小学校5年生
〃	竹内 宏武	平岡小学校5年生
〃	竹元 克則	平岡小学校5年生
〃	関 寛之	中川小学校5年生
〃	小川 晋吾	中川小学校5年生
随員職員	鈴木 啓二郎	自治振興課係長

## 第6回 姉妹都市使節団（姉妹都市提携10周年記念友好使節団）

◆日程：H1.1.27～2.10（15日間）

◆派遣人員：8名

◆派遣者

分野	氏名	役職等
執行部代表	平戸 襄	教育長（団長）
議会代表	安田 忠直	議会議員（副団長）
教育文化	星野 光春	公民館運営審議会委員
〃	阿津 米彦	青少年相談員副会長
スポーツ	實川 憲司	少年野球連盟
商工	大島 隆義	袖ヶ浦商工会
自治	進藤 吉次	自治連絡協議会
随行職員	笠原 清一	自治振興課

## 第7回 姉妹都市使節団

◆日程：H3.1.25～2.8（15日間）

◆派遣人員：5名

◆派遣者

分野	氏名	役職等
執行部代表	進藤 秀一	水道管理者（団長）
議会代表	安藤 範彦	議会議員（副団長）
農業	高橋 保一	農業委員会
自治	飯塚 勝洪	自治連絡協議会
随行職員	永澤 智	

### 第8回 姉妹都市使節団

◆日 程：H5.1.15～1.29（15日間）

◆派遣人員：6名

◆派遣者

分野	氏名	役職等
議会代表	塩谷 四郎	議会議員（団長）
執行部代表	横瀬 益男	総務部長（副団長）
国際交流団体	三宅 文子	
〃	篠崎 芳子	
随行職員	神谷 敏夫	都市部次長
〃	鈴木 真紀夫	広報広聴課主事

### 第9回 姉妹都市使節団（市議会議員海外行政視察）

◆日 程：H9.7.19～7.30（12日間）

◆派遣人員：16名

◆派遣者

分野	氏名	役職等
議会代表	塩谷 四郎	議長（団長）
〃	露崎 信夫	議員（副幹事）
〃	岡田 實	議員
〃	林 弥雄	議員
〃	渡辺 盛	議員
〃	石井 正信	議員
〃	注連野 昌志	議員
〃	在原 宏	議員
〃	渡辺 広行	議員
〃	江野澤 吉克	議員（幹事長）
〃	尾高 信人	議員
〃	鴫田 秀夫	議員
〃	星野 一郎	議員
市代表	高品 進	助役
随行職員	内海 久雄	議会事務局長
〃	花澤 一男	議会事務局主査

### 第10回 姉妹都市使節団

◆日 程：H14.6.12～6.23（12日間）

◆派遣人員：8名

◆派遣者

分野	氏名	役職等
議会代表	近藤 利勝	議長（団長）
国際交流団体	小野 和則	協会代表
〃	伊坂 寿子	協会三部会代表
〃	本多 孝治	協会会員代表
〃	高橋 保一	協会会員代表
〃	三宅 文子	太陽の友達の会代表
市代表	在原 和興	収入役（副団長）
随行職員	小畑 耕一	まちづくり推進課長

### 第11回 姉妹都市使節団

◆日 程：H19.8.22～9.2（12日間）

◆派遣人員：8名

◆派遣者

分野	氏名	役職等
議会代表	遠山 修	建設経済常任委員長
国際交流団体	松永 正則	協会副会長
〃	大岩 澄枝	協会交流部部长
〃	竹元 悦子	協会交流部副部长
〃	金子 恵美子	協会交流部部員
〃	松山 えい子	太陽の友達の会代表
市代表	大森 正行	消防長
随行職員	笠原 幹夫	まちづくり推進課長



### 市民使節団訪問（平成6年度）

◆日 程：H6.10.12～10.26（15日間）

◆訪問人員：12名

氏 名	担 当	備 考
山口 弘一郎	団 長	太陽の友達の会
江藤 二世	副団長	〃
小桜 始子	会 計	〃
小野 和則	広 報	〃
木内 勝子	芸術文化	〃
三宅 文子	連絡調整	〃
塩谷 四郎		〃
塩谷 君子		〃
吉田 文子		〃
照沼 和江		〃
伊藤 貴美子		〃
本多 孝治		〃

### 市民使節団訪問（平成9年度）

◆日 程：H9.8.8～8.22（15日間）

◆訪問人員：8名

氏 名	担 当	備 考
池田 隆	団 長	太陽の友達の会
小桜 良助	副団長	〃
大畑 壽秋	記 録	〃
太田 誠子	〃	〃
池田 亥年子	文 化	〃
大畑 みつ代	〃	〃
小桜 始子	会 計	〃
今関 和		〃

### 市民使節団訪問（平成 11 年度）

◆日 程：H12.2.7～2.16（10 日間）

◆訪問人員：7 名

氏 名	担 当	備 考
今関 一郎	団 長	太陽の友達の会
本多 孝治	渉 外	〃
三宅 文子	会 計	〃
太田 誠子		〃
船石 チヨ子		〃
石原 早智子		〃
石井 美子		〃

### 市民使節団訪問（平成 16 年度）

◆日 程：H16.10.9～10.20（12 日間）

◆訪問人員：10 名

氏 名	担 当	備 考
大岩 澄枝		太陽の友達の会
前田 久子		〃
前田 久美子		〃
三宅 文子		〃
猿渡 隆彦		〃
本多 孝治		〃
佐藤 武次		〃
倉本 賢司		〃
熊谷 隆		〃
磯田 直志		〃

## 第1回 イタジャイ市友好親善訪問団

◆日 程：S54.6.4～6.9（6日間）

◆来袖者数：7名

分野	氏名	役職等
市代表	アミカ ガザニカ	イタジャイ市長（団長）
議会代表	ニルソ ロレンコ トス サントス	議会議長
市代表	ローリア ビッテンクルート ジェニア	総務局長
〃	フェルナント ビレイラ	財政局長
商工代表	ジョゼ ルイス コラーレス	商工会議所
教育代表	エトソソ ビレイラ	イタジャイ大学総長代理
コーディネーター	ヒロシ ナカノ	

## 第2回 イタジャイ市友好親善訪問団

◆日 程：S56.5.16～5.22（6日間）

◆来袖者数：14名

分野	氏名	役職等
市代表	ニルソ クッケル	イタジャイ市副市長（団長）
議会代表	ダルモ フェミネーラ	議会議長
商工代表	ヴァルデア ベンハスティー	商工会議所
〃	フレデリコ オリジイオ デ ソウザ	商工会議所
〃	ジェルソソ ワンテリイ レアル	商工発展審議会
港湾代表	カルロス アルベルト ペレイラ	海運エージェント
教育代表	ラエルソ キニス	実業学校理事
農業代表	マウリシオ トス パッソス ワイテンクルート	農業技師
工業代表	エリアス コレア	特殊倉庫役員
商工代表	パウロ ロベルト ソウダ グラフ	体育厚生関係者
農業代表	シルビオ フェラーズ デ アラウジォ	州農業産業局技師
商工代表	イヴォ アルベロ フェレイテ	中型造船エンジニア
文化代表	ジョセ デジテリオ ベント	写真家
コーディネーター	ヒロシ ナカノ	

### 第3回 イタジャイ市友好親善訪問団

◆日 程：S58.10.15～10.20（6日間）

◆来袖者数：9名

分野	氏名	役職等
州代表	ジュリオ セサル	サンタ・カタリーナ州議会議長（団長）
〃	ギイオマル セサル	議長夫人
〃	ヴァイルソン オクレイミンガ	サンタ・カタリーナ州農林水産局長
〃	ヴェラ エム クレイミンガ	局長夫人
商工会議所	オズニ ビレイラ	オズニー船舶社長
〃	バルデリア ベンハヌッティ	運輸会社社長
〃	アルント イザク コスタ	漁業会社社長
〃	ホルント フェレイラ	漁業会社社長
コーディネーター	ヒロシ ナカノ	

### 第4回 イタジャイ市友好親善訪問団

◆日 程：S60.6.24～6.29（6日間）

◆来袖者数：10名

分野	氏名	役職等
市代表	ジョン マキャン	イタジャイ市総務局長（団長）
商工会議所	アンセルモ ジョゼ テーソーザ	衣類工場 オーナー
〃	シルビオ クジエルミン	木材センター オーナー
〃	マウリシオ レイス	ロープ会社 オーナー
〃	ジョゼ テストーネ	石油会社 オーナー
〃	ジョゼ サントリ	ホテル協会 理事
〃	アントニオ サントリ	スーパー オーナー
〃	オラシオ フィゲイレード	ホテル協会 理事
〃	ヴァルデリア クチンスキ	農場経営
コーディネーター	ヒロシ ナカノ	

### 第5回 イタジャイ市友好親善訪問団

◆日 程：S62.5.31～6.6（7日間）

◆来袖者数：5名

分野	氏名	役職等
市代表	フロリスバルト デイニース	イタジャイ市土木局長（団長）
商工会議所	イジデイオナルソゾ	ロータリークラブ理事
〃	モアシルズニノ	商工会理事
〃	オデマル ミュウレ	運輸会社 オーナー
コーディネーター	ヒロシ ナカノ	

### 第6回 イタジャイ市友好親善訪問団

◆日 程：H1.9.30～10.11（9日間）

◆来袖者数：10名

分野	氏名	役職等
市代表	イバン ルイス マキヤン	イタジャイ市法務長官（団長）
	アルシテス レバスキニーニ	運送会社社長
	ジエニイ レバスキニーニ	レバスキニーニ夫人
	ルベンス パチェッコ	市議会議員
	エリネス マルケス マテオス	医師
	アルベルト マキシラン ウェイス	水産加工会社社長
	ホルメン ヘレイラ	医師
	オプテマ ロトリゲス	警察署長
	アンジェル ペイカ ロヘス	造船技師
	ローザ コヘヤ カベロ	主婦

## 第7回 イタジャイ市友好親善訪問団

◆日 程：H3.7.31～8.6（7日間）

◆来袖者数：20名

分野	氏名	役職等
市代表	ジョン マキャナン	イタジャイ市長（団長）
〃	アデウ トルッペオ	市スポーツ観光秘書
児童・生徒	セウビイーノ	サッカー選手
〃	ラファエル	〃
〃	ファービオ	〃
〃	オデイルレイ	〃
〃	ロブソン	〃
〃	ロドリゴ	〃
〃	アンデルソン	〃
〃	クレール	〃
〃	レアンドロ	〃
〃	セリオ	〃
〃	オラシオ	〃
〃	マルコス	〃
〃	アウレリオ	〃
〃	ペドロ	〃
	ヒロシ ナカノ	コーディネーター
	フェルナント ゴメス	実業家
	カルロス オリベira	トレーナー
	アルレイ ソーザ フ	弁護士

### 第8回 イタジャイ市友好親善訪問団

◆日 程：H5.5.25～5.30（6日間）

◆来袖者数：6名

分野	氏名	役職等
市代表	アルルト シュミット ジュニア	イタジャイ市長（団長）
〃	ヨランダ アルメイダ シュミット	イタジャイ市長夫人
商工会議所	ルイス ジュラルト ネヘス	実業家（造船業）
〃	アンジェラ ラモス ネヘス	ネヘス夫人、民生委員
〃	ダールシ ロカテリ	トラクター販売会社社長
〃	ネサ ロカテリ	ロカテリ夫人

### 第9回 イタジャイ市友好親善訪問団

◆日 程：H13.10.30～11.5（7日間）

◆来袖者数：12名

分野	氏名	役職等
市代表	ジャンジール ベリーニ	イタジャイ市長
〃	ロウルデス エミ ベラット ベリーニ	イタジャイ市長夫人
〃	ウンベルト エリ テイシェイラ	ピサハス市長
〃	イリア アマリア テーホルバ テイシェイラ	ピサハス市長夫人
議会代表	ハト リバース ペレイラ	イタジャイ市議会議長
〃	モニカ ダイスイカ ペレイラ	イタジャイ市議会議長夫人
随行職員	アントニオ カロス フロリアノ	随行職員（文化局長）
商工会議所	アントニオ モアシル サントリ	企業家
〃	マリア イザベル サントリ	夫人
〃	マウリー ウェルネール	企業家
〃	マルコ セアラ ジュニオール	企業家
〃	マリサ ベンセイン テーノヴァエス	夫人

## 第10回 イタジャイ市友好親善訪問団

◆日 程：H15.11.13～11.16（4日間）

◆来袖者数：16名

分野	氏名	役職等
市代表	ジャンジール ベリーニ	イタジャイ市長
〃	ロウルテス ベリーニ	イタジャイ市長夫人
市関係者	ウンバルト テイシェイラ	ピサハス市長
〃	イリア テイシェイラ	ピサハス市長夫人
商工会議所	アントニオ サントリ	サントリグループオーナー
〃	マリア イザベル サントリ	商工会議所会長、サントリ氏夫人
〃	エニオ カゼミロ	イタジャイ港管理者
〃	ビジカゼミロ	カゼミロ氏夫人
議会代表	マリア ジュサラ パンプロタ	イタジャイ市議会議長
商工会議所	マリサ エウゼール	企業家
〃	カルロス ガウ	企業家
議会代表	マリサ ガウ	市議会議員、ガウ氏夫人
商工会議所	カジムス コスタ	企業家
〃	ソニア コスタ	コスタ氏夫人
〃	マウリ ウェルネール モリカサン	企業家
随行職員	アントニオ カロス フリアノ	イタジャイ市文化局長



○イタジャイ市と袖ヶ浦市の現況

	イタジャイ市	袖ヶ浦市
昭和 53 年	人口：約 80,000 人 （日系人 90 家族） 面積：304 km <sup>2</sup> 予算額：8 億円 児童生徒数：35,000 人（420 教室） 大学：3 校	人口：35,658 人（S53.4.1 現在） 面積：94.92 km <sup>2</sup> 予算額：80 億 8 千万円 児童生徒数：4,857 人（141 学級） 児童 3,468 人（101 学級） 生徒 1,389 人（40 学級）
平成 28 年	人口：205,557 人（H26） 予算額：H27 420 億円 H28 425 億円 市職員数：6,201 人（H28.3 現在） 議員数：21 名 病院：2 か所  図書館：市立図書館 1 か所 大学図書館 1 か所 学校図書館 41 か所 博物館：3 か所 イタジャイ歴史博物館 イタジャイ民族考古学博物館 歴史博物館  スポーツ施設：広場 8 か所 スケート場 1 か所 公立体育館 4 か所 運動クラブ 8 か所 青空体操グループ 40	人口：62,147 人（H28.4.1 現在） 予算額：H27 238.5 億円 H28 233.7 億円 市職員数：653 人（H28.4.1 現在） 議員数：24 名 病院：26 か所（医師会員） 17 か所（歯科医師会員） 図書館：5 か所 中央・長浦・平川 根形・平岡 博物館：1 か所 郷土博物館  スポーツ施設： 温水プール 1 か所 体育館 1 か所（臨スポ） 野球場 3 か所（市営・今井・百目木） 陸上競技場 1 か所 テニスコート 7 か所 サッカー場 2 か所 運動広場 4 か所 （長浦・根形・平岡・永吉）